

研究テーマ：現代日本における国際化運動が引き起こす光と影

所属 現代ビジネス学科 氏名 長島洋介



研究の概要

現代日本社会で変化をしながら浸透する国際化活動で、多くのプラスとマイナス要素を含む社会全体に影響する変化が繰り返し生じ続けている。この研究では「異文化理解と外国語学の浸透」「社会と雇用問題」そして「国際コミュニケーション力」の3点に重点を置き研究を続けている。

「異文化理解と外国語学の浸透」では、異文化理解や外国語教育の実用性教育方法の問題点を研究し、日本では高等教育まで基礎英語教育や国際的な科目を受けているにも関わらず「英会話力」や「異文化理解」が乏しく、外国人対応も含め毎年低い数値を記録し続けている背景理由を検証している。

幾度となる発生した教育改正やその他多面の理由により生じ続けている「社会と雇用問題」では1990年代に誕生したNEET問題を追求し、イギリスではじまり中国、日本、アメリカまでに広がり、各諸外国の対策や対応などの違いや成果を比較して日本の対策対応不足や抱えている根本問題について検証している。

そして「国際コミュニケーション力」については今後も変化し続ける国際化や変化などを歴史的観点から想定し、異文化理解や国際対応力の重要性を再確認する。現代の日本人が持ち続けている言葉の壁や異文化に対する恐怖心、そして日本古来の独特のコミュニケーション方法による妨げなどを鎖国時代や国際貿易などの歴史的背景も含めて重要問題点を検証している。

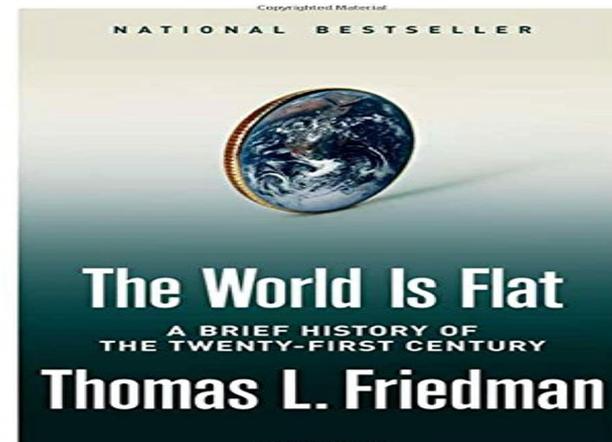
現代のフラット化する世界で必要不可欠である異文化理解や国際理解など、国際コミュニケーション力不足の人口を多く抱えた現代日本。その対策問題や日本人が長年抱えている数々の社会問題を他国の対策活動や政策の比較も含めて研究を続けている。

発表論文

Dr. Nagashima, Y. (2011) The Impact on Ethnic Identity of Younger Adults in Japan

Dr. Nagashima, Y. (2018) 国際理解と国際交流の重要性【シンガポール大学発表】

Dr. Nagashima, Y. (2018) Analysis of Historical International Development in Asia



EF EPI英語能力指数での日本の順位

